

週報

こひつじ

第39巻 11号
大津キリスト教会
菊池郡大津町室 119
TEL 096-293-4470
FAX 096-293-4961
牧師 米村 英二

アンネに憧れて

境 重子

私は、今、合志市に夫と息子とが山で、猟銃で仕留めてきた兎の三人で暮らしています。他にもう肉でした。ひとり広島大学の通う娘がいまそんな田舎に育ちましたが、私す。の夢はバレリーナになることです。

大津教会に来るようになった。けれど、バレエを教えてくれる。つけかけは、息子が通っていた保育園と、もちろんそこには園で一緒だった高宮さんに、自宅ありませんでした。

です。ですから都会に憧れました。都でやっておられる聖書の学び会に誘っていただいたことです。そこ会へ行けば、いろんなことができ。にはいつも牧師の米村さんが来るのにと。

高校卒業後は看護学校で学ぶことになりました。とになり、親元を離れ、寮での生活が始まりました。好きな時にデ

私、静岡の大井川の支流が流れる山奥で生まれ育ちました。子と思うと、なんだかわくわくします。どもの頃、食卓にのぼる肉は、父した。

こうして本格的な自由を得た私は、もっと都会へ、もっと自分のやりたいことへと、その行動範囲を広げていきました。

当然、失敗や困難もありました。が、なんとか自分の努力で切り抜けてきたと思っていました。

けれども、結婚してまもなく、夫のUターンで熊本にやって来て、子育てが始まると、自分の努力ではどうにもできないことばかりが起こつてきて、神様にすがるより

ほかにないと思うようになったのです。小学生の時、授業で読んだ『アンネの日記』のなかで、アンネが「自分は幸せだ」と言っているのが、とても不思議で、どうしても納得できませんでした。

その頃の私は、田舎に生まれただけで、自分はなんて不幸な人間だと思っていましたから、小さな部屋から出られないアンネが幸せ

なはずがない、そう思って、「これはどういうことなのか」と母にたずねたのです。すると、母は答えました。「世の中には、もっと不幸な子がいるんだから、自分はまだ幸せなほうだ、と言っているのではないの」

今日の礼拝

- 第一礼拝は午前10時から、
- 第二礼拝は午前11時から。
- 教会学校は午前10時から。
- 説教は米村牧師。

先週の礼拝

- 司会は岩崎宏志さん。
- 説教は米村牧師。イエスが三

度もペテロに尋ねられた問い、

「あなたはわたしを愛しますか」

(ヨハネ二二の一七)

についてでした。

イエスは最後に、ペテロの愛だ
けを確認したいと思われました。

なぜでしょうか。

たった一つ、イエスに対する愛
がありさえすれば、彼の人生が大
きくそれることはないからです。
私たちも同じではないでしょうか。

先週の出席

○第一礼拝が四九名、第二が五
一名、合計一〇〇名(男三三、女
六七)。子ども一〇名。合わせて一
一〇名でした。

空の鳥を見よ

米村英二

空の鳥を見なさい。

(マタイ六の二六)

自然はありのままです。人をう
らやんだり、ねたんだり、卑屈に
なったりしません。他人に要求す
ることもなく、自分の置かれたと
ころでせいっぱい生きています。
そんな自然の姿を見つめるとき、
私たちの心は不思議なやすらぎに
つまれるのです。

思い煩いの多い私たちに向かっ
て、

「空の鳥を見よ」

とイエスが言われたのは、その
ような理由からではないでしょう
か。

だれもわたしにかまってくれな
い。大事にあつかって欲しくない。
挨拶もしてくれない。私の気持ち
をわかってくれない。これだけや
っても、感謝の一言も言ってくれ
ない。

こういう人を「くれない族」と
言うのだそうです。

そんな不満な気持ちでいた彼女
に、ひとりの宣教師が、次の短い
詩をくれました。その詩の一節。

「Bloom where God has planted
you.」(置かれた場所で咲きなさい)

多くの人が、自分の場所がない
と言います。しかし彼女は、

「場所はいつもある。今、自分の
置かれているところ、それが、そ
の場所だ」と言うのです。

自然の姿を語った、その詩の一
節が、彼女にそれを教えてくれた
のでしよう。

渡辺和子という人がいました。

カトリックのシスターで、多くの
本を書き、最後は、ノートルダム
清心学園の理事長でした。そんな
彼女が、若い頃は、自分も「くれ
ない族」だったと告白しています。

yonemura@ja2.so-net.ne.jp